

(様式第8号)

長野県みらい基金 事業指定助成プログラム  
助成対象事業実績報告書

2021年 3月 日

公益財団法人

長野県みらい基金 理事長 様

申請者：所在地 安曇野市穂高有明 2105-879

団体名 Garden Farm Life of Azumino

代表者 職・氏名 代表 杉下久子 (印)

『長野県みらいベース』において当団体が掲載した「事業指定助成プログラム」について、下記のとおり報告します。

記

1 助成対象事業名

荒廃農地解消と心豊かな暮らしのための「ガーデンファームガイドブック」の発行事業

2 助成対象事業の実施期間

令和2年 4月 1日 ~ 令和2年 12月 31日

3 助成対象事業の内容

安曇野オープンガーデンファームの開催時期は例年6月を中心に開催しています。「安曇野オープンガーデンファームガイドブック」は安曇野に暮らす「心豊かな安曇野暮らし」を紹介し来訪を呼びかけるものです。前年度に参加者を募り5月には編集印刷することとなります。状況をみながら必要な編集企画を改善しつつ増刷します。

4 事業の成果

毎年開催している安曇野ガーデンファームの紹介誌「安曇野ガーデンファームガイドブック」は人気に押され増し刷りを重ねました。会の趣旨である農地の保全と健康づくりの推進のためにも毎年発行してまいりたいと思います。

平成29年7名の会員で始まった当会の活動は現在ではおかげさまで40名を数え地域に留まらず広く人気の事業となりました。本年度は「信州花フェスタ」へもボランティア協力参加し会員の夢は膨らんでいることから「ガイドブック」の増刷が望まれていました。

今年は新型コロナの影響もあり、オープンガーデンへ来訪される方は減少したものの、ガイドブック

の増刷により田園の暮らしを見直すための広報活動に幅広くとりくむことができました。

5 助成対象事業の実施状況を示す書類（添付）

- (1) 助成対象事業収支計算書
- (2) 事業の経過又は成果を証する書類
- (3) その他参考となる資料

助成対象事業 収支計算書

区 分		金額 (円)	内 訳	
収 入	① 本助成金	2,9200	みらい基金助成金	
	② 自己資金 会費、事業収入、 寄付金など	21,771	前年度繰越金	
		76,000	会費 ( 2,000×38名)	
	① その他			
収入合計		126,971	( A )	
支 出	助 成 対 象 経 費	事務費	32,806	インク・用紙・封筒他事務用消耗品
		通信費	11,354	ガイドブック郵送料
		計	44,160	( B )
助 成 対 象 外 経	使用料等	1,850	会議室使用料 2回分	
	事務費	8,970	紙・インク外事務用消耗品	
	通信費	14,694	事務連絡等郵送用切手代	
	謝礼等	5,000	ガーデンコンサート (11/14) 謝礼	
	研修下見費	0	コロナ禍のため中止	
	雑費	0	次年度へ繰越	
	繰越金	52,297	次年度へ繰越	

費	計	82,811	( C )
	支出合計	126,971	( B ) + ( C ) = ( A )

※上記報告書の裏付けとして、領収書のコピーを添付してください。





Garden  
Farm Life  
of Azumino  
～安曇野の花庭・せんげ畑～



# 安曇野 ガーデンファームライフ ガイドブック 2020





参加  
無料

# コミュニティガーデン講座 「秋の宿根草を楽しむ」



三郷文化公園には、ボランティアの皆さんで管理をしている円形花壇『安曇野ゴースラウンドガーデン』があります。

今回は花壇の中に生育している秋の宿根草の鑑賞会と、冬を越して春に綺麗な花を咲かせる球根の植え付け体験を行います。



日 時

令和2年11月3日(火・祝)

10時00分～11時30分(9時45分受付開始)

場 所

三郷文化公園内 安曇野ゴースラウンドガーデン  
(安曇野市三郷明盛4775-3)

定 員

20名《先着順、10月12日(月)より申込開始》

申込方法

安曇野市都市計画課公園緑地係までご連絡ください。  
(☎0263-71-2249 担当:高尾)



## ナチュラルリスティックガーデン

今世界で注目されている今までのガーデンのスタイルとは違う、ナチュラルリスティックガーデン(自然主義的な庭)というスタイル。温暖化や生態系の急激な変化に危機感を抱く人が増えたことや、気候の急激な変化で植物が以前と同じ様に栽培することが難しくなっていることも背景にあります。

自然の植生の美しさをヒントに、その土地と気候に適した宿根草を使って自然な風景を作り、最低限の水やり・無農薬・無化学肥料で管理する庭で、花の時期だけではなく、シートヘッドやグラスの穂、植物の枯れ姿も形として味わいます。

このムーブメントに大きな影響を与えているのがオランダのガーデンデザイナー、ピート・アウドルフ。ニューヨークの廃線後に作ったハイラインと呼ばれる公園は、その四季折々の美しさで人々が集まる場所になり、雰囲気の悪かった地区を今では一番人気のあるエリアに変えてしまったほど。

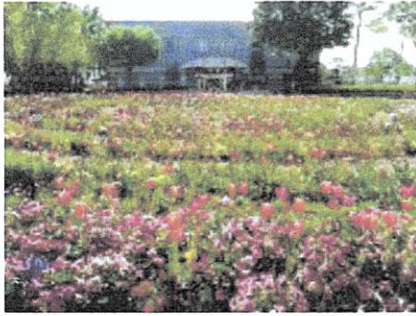
ファイブシーズンズという彼の自宅の庭を撮影した映画では秋の枯れ姿の庭から始まりますが、この映画で植物のブラウンの植物の、姿形の美しさに目覚めた人も多はず。

この映画の中で彼は「みんな枯れていると言うんだけど、秋は一番庭が成熟している姿、夏のように勢いは無いけれど一番美しい季節だと思う」と。この視点から見ると秋の庭も枯れた草を片付けないといけない庭ではなく、成熟した形を楽しめる庭に見えてくると思います。





## 春一番のナチュラルスティックガーデン



まだ残しておきたい様なシードヘッドもあるけれど、新しい芽もどんどん育つ季節。次のシーズンに備えてカットバック（刈戻し）をします。海外の大きなガーデンではエンジン式や乗るタイプの芝刈り機などで豪快にカットバックする所も！ここでは一挙に季節を入れ替える方法ではなく、冬の間少しずつ乱れた所を手入れをし、春一番にすべてカットバックというやり方で手入れしています。



カットバックの仕方も全部同じように地際で刈り取るのではなく、手間は係るのですが緑の葉が残るスティパテヌイッシマ（エンジェルヘア）などは枯れた葉をすくなど、手を入れた感が出るだけ抑えられる方法で行います。



### スティパテヌイッシマ

学名 ナッセラ テヌイッシマ

別名ポニーテール、エンジェルヘアと呼ばれる丈夫なオーナメンタルグラス。髪の毛のような細い葉が風に揺れる様子が素敵なグラス。緑の葉に細い穂がふわふわそよぐのも素敵だけれど、冬の枯れ姿もガーデンのアクセントに最適なので刈らずに残しておきたい植物の一つ。適地ではこぼれ種でよく増えます。





まだ光に透けるとキレイで勿体ないような気がするけれども、新芽が待っている所以思い切ってバッサリとカットバック。

手前の黒い種はペンステモン・ハスカーレッド。形が最後までしっかり残るので、他の乱れてきた植物を刈り込んで最後に刈り戻していきます。

去年ネペタの脇に植えた水仙の芽。水仙は花が終わっても出来るだけ葉を残しておきたいけれど、だんだん黄色くなって見苦しくなるので、ネペタが育つて来ると葉の下に隠れるように入っています。



刈り込み前と後。真ん中の枯れて倒れたグラス、バーベナ・ボナリエンシス、バーバスクム達をカットバックすると、かなりスッキリします。



この後は残っている宿根草を3月中にすべてカットバックしてリセット。その時球根の芽を踏まないように。球根の芽は一度しか出ないので、潰されたり折れたりすると枯れるまでその姿のままになってしまいます。チューリップ、アリウム、水仙の球根が入ってますが、思わぬところから芽を出しているので、宝探しのようによく見ながら、慌てずに作業をお願いします。